

 シラバス参照

授業基本情報

講義番号	076052
授業科目	歯周病態診断・治療学
担当教員（所属）	高柴 正悟 (07：歯学部), 山本 直史 (07：歯学部)
学期	2017年度 Q：4学期
曜日・時限	火曜3, 火曜4
単位数	1
教室	第一示説室
ナンバリングコード	NDGI0DEDZ4003N
印刷用ページ	https://gs.okayama-u.ac.jp/campusweb/campusquare.do?_flowId=SYW4101101-flow&nendo=2017&shozoku=07&jikanwari=6052&sylocale=ja_JP
科目区分	専門科目
対象学生	4
必修・選択の別	必修
連絡先	(内線) 6675/stakashi@okayama-u.ac.jp
オフィスアワー	全体に関しては、火曜日17:00～、木曜日8:30～10:00（ともに、歯学部棟7F 歯周病態学分野） ★事前の連絡を、高柴まで本学のe-mail addressを用いて、行うこと（携帯メールは対応できない場合があります）。 各講義に関しては、各講義担当者へ確認してください。
学部・研究科独自の項目	E -3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E -3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療
使用言語	日本語
授業の概要	辺縁性歯周疾患の病態を生物学的な基礎に基づいて解説し、これらの疾患の病因、診断、治療法、ならびに予防法を教授する。
学習目的	一般目標（GIO）： 個々の患者の辺縁性歯周疾患を適切に診断しそれに基づいて治療を行うために、辺縁性歯周疾患の病態と病因、診査、診断、治療法、ならびに予防法を理解する。
到達目標	行動目標（SBOs）： 1. 歯周組織の構造とその構成細胞について説明できる（想起） 2. 歯周組織破壊のメカニズムと治療に伴う治癒のメカニズムを説明できる（想起） 3. 辺縁性歯周疾患の病態を修飾する宿主因子と病原因子を説明できる（想起） 4. 歯周疾患の分類とそれぞれの疾患の特徴を説明できる（想起） 5. 辺縁性歯周疾患の病態を細菌感染と生体防御のバランスの観点から説明できる（想起） 6. 各歯周疾患の診査・診断と治療法について説明できる（想起） 7. 臨床所見とX線所見に基づいて、その症例の診断ができる（解釈） 8. 診断に基づいて、基本的な治療計画を立案できる（問題解決） 9. 個々の症例ごとに診断に基づいた治療を行う習慣を身に付ける（態度・習慣） 10. 先進的な治療法や診断法に興味を示す（態度・習慣）
授業計画	1 12/5 3限 イントロダクション1 歯周病学の歴史 高柴教授 2 12/5 4限 イントロダクション2 歯周病学の発展 高柴教授 3 12/12 3限 歯周病態診断1 歯周疾患の診査・診断：conventional 大森講師 4 12/12 4限 歯周病態診断2 歯周疾患の診査・診断：up-coming 大森講師 5 12/19 3限 歯周病病態診断から歯周病治療へ 治療計画の立案と歯周治療の目標 富川助教 6 12/19 4限 歯周病治療1 救急治療と歯周基本治療 富川助教 7 1/9 3限 歯周病治療2 歯周外科治療1（基本的術式・組織付着療法） 井手口助教 8 1/9 4限 歯周病治療3 歯周外科治療2（切除療法） 井手口助教 9 1/16 3限 歯周病治療4 歯周外科治療3（再生療法） 井手口助教 10 1/16 4限 歯周病治療5 歯周外科治療4（歯周形成手術） 井手口助教 11 1/23 3限 歯周病治療6 根分岐部病変の治療、歯内一歯周病変の治療 海老沼助教

	<p>12 1/23 4限 歯周病治療7 口腔機能回復治療 山城助教</p> <p>13 1/30 3限 歯周病治療8 Maintenance & SPT 海老沼助教</p> <p>14 1/30 4限 特殊な歯周病 歯肉増殖, 壊死性潰瘍性歯周炎, 遺伝性・家族性 大森講師</p> <p>15 2/6 3限 歯周病態診断・治療学:試験1 試験:「歯周病学」をまとめる(高柴教授から出題) 高柴教授</p> <p>16 2/6 4限 歯周病態診断・治療学:試験2 試験:「歯周病学」をまとめる(各教員から出題) 高柴教授</p>
授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)	
授業形態	(1)割合 講義形式:100%
使用メディア・機器	PowerPoint等を用いた視覚教材 学生はICT機器を用いて,資料収集(研究分野のHP等から)
教科書	<p>講義中に適宜紹介する。</p> <p>事前に, http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind2/cn11/pg60.htmlにある歯髓病態診断・治療学 Pulp Biology & Endodontologyの資料を予習しておくこと。</p> <p>選択すべき教科書群;</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床歯周病学 第2版:吉江弘正, 村上伸也, 申基喆, 伊藤公一(編集), 医歯薬出版, 定価 9,975円 2. 標準歯周病学(STANDARD TEXTBOOK) 第4版:鴨井久一, 伊藤公一, 山田了(編集), 医学書院, 定価 7,980円 3. グリックマン臨床歯周病学 第6版:Fermin A., Jr. Carranza(著), 原耕二(翻訳), 西村書店, 定価 29,400円 4. Preventive Periodontology 臨床を支えるサイエンスを知る・唾液検査を活用する・生活習慣病を予防する:鴨井久一, 花田信弘, 佐藤勉, 野村義明(編), 医歯薬出版, 定価:12,600円 5. 歯周病診断のストラテジー:吉江弘正・宮田隆(編著) 医歯薬出版, 定価 13,650円 <p>以下は,日本歯周病学会から(PDF入手可能が多い)</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 歯周病の診断と治療の指針 2007 (http://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_periodontology.pdf) 編集:特定非営利活動法人日本歯周病学会, 医歯薬出版株式会社 8. 歯周病の検査・診断・治療計画の指針 2008 (http://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_perio_plan_2008.pdf) 編集:特定非営利活動法人日本歯周病学会, 医歯薬出版株式会社 9. 歯周病患者におけるインプラント治療の指針 2008 (http://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_implant.pdf) 編集:特定非営利活動法人日本歯周病学会, 医歯薬出版株式会社 10. 歯周病患者における抗菌療法の指針 (http://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_antimicrobial_therapy.pdf) 編集:特定非営利活動法人日本歯周病学会, 医歯薬出版株式会社 11. 糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン (http://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_diabetes.pdf) 編集:特定非営利活動法人日本歯周病学会, 医歯薬出版株式会社 12. 「歯周病患者に対する補綴歯科治療のありかた」に関する提案書 (http://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_hotetsu.pdf) 【執筆】社団法人日本補綴歯科学会医療委員会医療問題検討部会 & 特定非営利活動法人日本歯周病学会医療委員会 【掲載】日本歯周病学会会誌第51巻2号 13. 『歯周病学用語集 第2版』 Glossary of Periodontal Terms 2013 (http://www.perio.jp/publication/glossary.shtml) 特定非営利活動法人日本歯周病学会編, 医歯薬出版株式会社 定価 3,150円
参考書等	講義中に適宜紹介する。本講座が作成した実習書を各論講義にも用いる。 講義の資料も配布する。また,図書館とInternetを利用して検索を行い情報収集することも必要になる。
成績評価	毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また,講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験60点,レポート30点,出席10点
担当教員の研究活動との関連	歯周病診断のための血清抗体価測定法あるいは細菌検査法の確立を研究テーマとしている。また,細胞増殖因子や多血小板血漿を用いた歯周組織再生療法,抗菌物質を口腔内に deliveryするための遺伝子治療に関する研究を展開している。科学的根拠に基づいた歯周病診断のあり方を学ぶこと,そして歯周病学の方向性を理解するために研究内容の一部を紹介する。

受講要件	歯学部生は必須
他学部学生の履修の可否	否
教職課程該当科目	この項目は当該科目には該当しない
J A B E E との関連	関連しない
備考／履修上の注意	実際の講義は、講座ならびに診療科の他のスタッフの協力を得て、それぞれのスタッフが得意とするトピックスについて講義することがある。

DP要素

人間性に富む豊かな教養【教養】	
目的につながる専門性【専門性】	70%
効果的に活用できる情報力【情報力】	20%
時代と社会をリードする行動力【行動力】	
生涯に亘る自己実現力【自己実現力】	10%
関連割合の合計	100%

Copyright(c) 2001- NS Solutions Corporation All rights reserved.